



会員数 30人

北九州プロバスケットクラブ月報

つながり

No. 193

令和4年12月号

2022. 12. 20

11月卓話「ビッグバンドをごぞんじですか？」

小倉ロータリークラブ会長 坪根悟郎氏



坪根講師は最初に「私は著名でもなければ、今日の話はみなさんに何の役にも立ちませんが、私の趣味を紹介します」と挨拶。まず、「ビッグバンドとは17～18人で構成するバンドのジャズグループで、有名なところではグレンミラーやベリーグットマンなど、日本ではシャープ&フラットやスマイリー小原さんがいます。皆さん世代に聞き覚えのある楽団です」と演奏光景をスクリーンに写しながら紹介した。なかでもフランクシナトラがマイクを手に持って歌うスタイルを築き、音楽表現の幅を広げたという。

そして、私は学生の頃、バンドに入ったのをきっかけに37年ジャズを続け、「ニューアベベオールスターズ」という社会人バンドに所属してテナーサックスを担当していますという。楽団名は昔小倉駅前にあったジャズ喫茶「アベベ」の名を残すためにつけたという、気になってネットで調べると「アベベ」は1983年に閉店したものの、20年以上続いた当時ジャズ界の草分け的存在で、九州では珍しい高額なスピーカーなどを備えていたという、さらに、アベベ閉店後、ジャズを演奏できる場を作ろうと活躍したのが、坪根講師を中心としたメンバーだった。その歴史は北区紺屋町にあるジャズ喫茶「ビッグバンド」に引き継がれていた。そこを拠点に演奏活動をしているのが「アベベオールスターズ」で結成1年目にNHKアマバンドコンテストで優勝、その後も3年連続で優勝しているから実力あるバンドだった。「4年目は出場を辞退、勝利10割」が自慢になった。そのバンドには全盲の仲間もいたこと、視力障害者のためにチャリティーコンサートを開き、1990年には邦楽など伝統音楽以外で初めて北九州市民文化奨励賞をも受賞。その他、少人数でのコンポバンドもやっていて、同行の原田さんの長男とも演奏したことなどを披露、一番の思い出がそのチャリティーコンサートでジャズ界の重鎮渡辺貞夫さんを招いてコンサートを開いたが、その渡辺さんのギャラが150万円で、しばらくすると渡辺さんから「自分はプロだからギャラは受け取るが、自分たちでチャリティーを企画して、実績もあげている。熱意と情熱に感心したので私も寄付をする」と言って150万円をそっくり返してくれたという。私も学生時代に渡辺貞夫の生演奏を聴き、ジャズのすばらしさに感動、今でも時折、ジャズコンサートに行くが、いい話を聞けたと思っている。（安高）

記念例会で在籍表彰されました

- | | | |
|-----|-------|----|
| 15年 | 松永 光代 | 会員 |
| | 洞 ミヨ子 | 会員 |
| | 竹原 英作 | 会員 |
| 10年 | 吉田 信雄 | 会員 |
| 5年 | 住吉 育代 | 会員 |



11月例会報告

開会の辞に続いて、中山会員のストレッチ指導、新しい運動も取り入れ、来賓の卓話講師からも「いいですね」とお褒めいただいた、続いてお試し入会者の紹介。食事のあと例会の本題にはいきなり、まず植田会長が「11月にはプロバスクラブ設立の月、今年で23年になります」とあいさつ。卓話は小倉ロータリー会長の坪根悟郎氏、同ロータリー会員で元地区ガバナーの原田光久日本磁気選鉱会長も同行した。古賀副会長も講師紹介の中で、「ロータリーの重鎮お二人がお見えですので、プロバスク産みの親であるロータリーとの交流をこれからもよろしく」とお願いした。卓話は通常1時間の計画になっているが、坪根会長は現役の歯科医院理事長。午後2時から午後3時の診療が再開されるということで、30分の短縮版、「ビッグバンドをご存じですか」の演題で趣味のジャズについてパソコンを使って話した。設立記念月とあつて在籍賞表彰と続き、在籍15年の松永、洞、竹原各会員、10年の吉田信会員、5年の住吉会員が植田会長から表彰を受けた。

そのあと、臨時総会に移り、ホテル側からの料金改定などを受け、年会費1900円を2000円に例会費月額2600円を3000円にする値上げ案と創立25周年記念事業の積立金として月額500円をいずれも令和5年1月から徴収する案などが承認された。また、慶弔金も実態にあわせ、対象期間を短くした。(安高)

例会委員会

12月6日 13名出席

湖月堂にて17時30分から開催。議題は3月例会までの卓話の確認と4月以降の候補者選考、またショートスピーチ及び例会受付要員の確認をした。今回の重要課題の新年会プログラムについて、実行計画案の協議を時間をかけて行い、決定した。例会委員会になって委員の皆さん協力のもと、出席率も良く有意義な会の運営が出きている。

今年最後の委員会であり忘年会食をして、和気あいあいの内に閉会した。(大石)

交流委員会 初めの長府バスツアー

11月18日開催の交流委員会(13名出席)で最終決定した第1回のバスツアーは、11月29日20名が参加して城下町長府へと向いました。天気予報で当日は雨模様とあり、散策が目的なので不安でしたが、夜来の雨も朝には上がり、古賀副委員長長の「私は晴れ女です」の言葉に勇気づけられて出発しました。長府では地元の観光ガイドの、興味深く楽しい説明に耳を傾けながら、壇具川添いの景色を楽しみ功山寺へ、



そして紅葉散る山陽道も歩き、長府博物館では学芸員の詳しい解説もありました。晩秋にしては暖かな気候の中の散策で、壇ノ浦の合戦、大内・毛利家の時代、明治維新の舞台、下関条約等に思いを巡らせました。昼食後の長府庭園では雨が降り出しましたが、孫文の蓮池に降る雨は風情がありました。山口県の地域クーポン三千円を使い切らねばと、最後の立ち寄り場所村田蒲鉾店で、全員大判振る舞い。かくしてバスツアーは全員無事に帰途に着きました。車中の往きは合唱に始まり、帰りは伊熊さんのクイズと盛りたくさんの趣向で楽しみました。雨を懸念して皆さんの気持ちが一つになり、印象深いバスツアーになったと思います。来春はどこに行きましようか…？プロバスの善男・善女に心から感謝申し上げます。ブラボー！！(近藤哲生)

広報委員会

12月2日 7名出席

会員の諸般の事情で欠席が増えたが、昼食に舌鼓をうった後、令和5年1月号の編集会議で、卓話やショートスピーチの原稿執筆者や写真の撮影者の確認を行った。加えて、1月から会員へ依頼する「ミニ随筆」寄稿者の順番も決定し、12月例会で報告する。

会議の終わりは、11月24日からのプロバスクラブ全国大会の模様や、高尾山行きの話で盛り上がり、談笑のうちに会を閉めた。(内藤)

全国協議会報告 八王子に会長バトンタッチ

11月24日に東京・八王子の京王プラザホテル八王子で第10回総会と八王子大会が開かれ、北九州から古賀会長、住吉会員、内藤会員、それに安高の4名が出席した。2期4年間会長クラブを務めた北九州から次期会長クラブの八王子にバトンタッチする記念すべき大会で、総会では出席できなかった松本幹事長に代わり、安高が司会役を務めた。各議案採決で新役員も承認され、壇上で古賀会長と新会長に就任した八王子プロバスクラブの田中新会長が握手を交わし引継ぎを終えた。



引き続き、八王子大会に移り「わがプロバス活動」のテーマで八王子松任、びわ湖大津の3クラブの代表がそれぞれクラブの活動を紹介、全国大会を予定していたが、2度も対面交流が実現できなかった五所川原プロバスクラブの労苦に対して、謝辞が述べられた。

このあと、歓迎イベントで八王子の会員で組織する男声合唱団「シニア・ダンディーズ」が登壇、平均年齢84歳で、地元イベントにも多数出演するなど幅広く活動しており、プロのソプラノ歌手との共演も含め「昴」など9曲を披露した、また、八王子市は文化庁が認定する日本遺産地域にもなっており、その構成要素の一つの八王子芸者衆の踊りも披露され、会場に華やかさを添えた。

翌日は「日本遺産高尾山の秋を楽しむ」のオプションツアーで、日本一の登山客数を誇る高尾山山頂までロープウェイで登り、紅葉と参道の杉並木など自然を満喫、薬王院では日頃非公開の施設や本堂での護摩焚きを見せていただいた。山伏を先頭にほら貝を鳴らしながら入場する13代貫主の荘厳な儀式を目の前で見ることができ感慨深かった。(安高)



謙虚な生き方に学ぶ

No.69 住 百合絵会員

ご縁があってプロバスクラブに入会いたしましたが、文章を書くことが苦手な私は正直困惑していました。しかし、ここで一度立ち止まって振り返ってみることも必要なとの思いで、ペンを走らせております。

思い起こせば、私の入会前に退会されたとお聞きした鎮西学院の池田理事長とも長い間交流があり、一緒にゴルフをしたり、とても良くして頂いた思い出があります。その他沢山の方との出会いがお店をやっていく上でも随分と助けになりました。今や皆さん、会社の社長さんや既に引退されて悠々自適な生活を送られていらっしゃる方もおられます。そういう方々を拝見いたしますと、肩書にとらわれない謙虚な生き方やキチンとした身だしなみも素敵ですし、何より人としてとても魅力を感じます。幸いにも私の周りには見習うべき方たちがたくさんおられます。

おこがましいとは思いますが、私も皆さんのような生き方に少しでも近づけるよう努力して参りたいと思います。どうぞ、よろしくお付き合い下さい。

食 美 会

寒暖の差を感じる11月30日、朝から木枯らしが吹く寒い日の正午から、本年最後の会を小倉北区の台湾料理「麗白」で開催した。この店は会の人気スポットで数回にわたっての開催である。参加者は8人ではあったが、部屋の雰囲気だろうか、参加者が一つになって久しぶりに話が弾んだ。料理は主食を個々が選択、私は出汁でコメの形状がないほどに煮込まれた粥で体も温まり、最後は緑豆ぜんざい風の甘味で大満足であった。(古賀靖子)

カラオケ同好会

11月18日浅野パティオにて、元気にカラオケをしました。古賀えみ子さんの美声、真鍋さんの裕次郎、92歳と思えない吉田信雄さん、元気潑刺なプロバス会員です。皆さんも奮ってご参加下さい。





病を越えて No.67 遠藤信子

私は昨年脳梗塞を患い、約2ヶ月半入院し、後遺症が少し残り字が元通りに書けません。病院では自主練習を毎日行い85%くらいまで戻りましたので、何とか生活しています。入院中には作業療法士の指導を受け、リハビリの一環として竹籠を作りました。出来上がるのがとても楽しみでした。出来栄は80点くらいでしょうか。



以前から腰が悪く、かかりつけの整形外科医から脊椎管狭窄症と診断されていました。痛みはないのですが、重だるくて長く歩けません。スピードも遅くよちよち歩きなので、ほとんど外出はしていません。今年の8月から介護保険サービスを受けて、週1回ヘルパーさんにきて貰っています。要支援1のサービスで1時間掃除をして貰い、すごく丁寧、綺麗にされるのでとても助かっていますと話されました。

これまでプロバスを含め、人の倍以上に頑張ってきて来られた遠藤さん、これからは身体と相談されながら、楽しみを増やしゆっくり豊かに過ごしていただきたいと思いました。(内藤)

🎵 歌をうたう会

11月30日15時から小倉西市民センターでレッスン開始。6名の参加者が11月からの新しい練習曲「エーデルワイス」に挑みます。優しいメロディーに映画「サウンドオブミュージック」の一場面を懐かしく思い浮かべながら歌えば、心も弾みます。とても気持ちよく練習ができたように思います。英語の歌詞に、男声ソロや女声ソロの部分を入れるアレンジにも挑戦していますが、さて、どのように曲が仕上がりますか楽しみです。皆様に披露できるようしっかり練習に励みます。

(近藤弘子)

写友会



11月例会展示作品

科学雑誌を見ているよう

ありがとうBOXメッセージ11月分 (五十音順、敬称略)

★(植田)★ありがとうございます。(遠藤)★充実の季節です。楽しみましょう。(大石)★世相・報道・幻想・現実・人として生きる。(大川)★今日のテーブルはいろんな話で楽しかった。(神田)★年1回の記念例会、ビッグバンドの活動、ジャズ界の話と知らない領域の話で良かった。(古賀靖)★記念例会、在籍賞おめでとうございます。(近藤弘)★今日も無事例会に出席出来ました。(柴村)★在籍賞をいただきありがとうございます。5年はあっという間でした。(住吉)★秋の夜長を無事に過ごしています。(竹原)★Link23号完成に感謝。ありがとうございました。(内藤)★席を譲られました。素直にありがとう。(橋本)★在籍賞をいただき喜ばしいことのでがんばりましょう(洞)★感謝(松永)★(松本)★(眞鍋)★(安河内)★(安高)★新型コロナに終わりは無いものか早くも3年だ。(吉田信)★ありがとうございました。(原田光久)

収支報告

10月末残高	74,266 円
11月分収入(例会)	10,000 円
11月末残高	84,266 円